

1. 件名：「川内原子力発電所1号機及び玄海原子力発電所3号機の安全性向上評価届出について」

2. 日時：令和3年7月19日（月） 13時30分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁 原子力規制庁内会議室（※一部TV会議システムによる出席）

4. 出席者：

原子力規制庁

安全性向上評価チーム

戸ヶ崎安全規制調整官、塚部管理官補佐、御器谷管理官補佐、沼田主任安全審査官、宮本安全審査専門職、儘田主任技術研究調査官、伊東技術研究調査官、川口技術研究調査官、西村技術研究調査官

実用炉審査部門

岩崎安全審査官、藤川安全審査官、宮嶋安全審査官

九州電力株式会社

原子力発電本部 安全・品質保証部長 他17名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・川内原子力発電所1号機 第4回 安全性向上評価の概要について
- ・玄海原子力発電所3号機 第2回 安全性向上評価の概要について
- ・実用発電用原子炉の安全性向上評価届出に係る改善事項に対する取組み状況について

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:08	第1号機であり、
0:00:11	平成玄海3号の第2点目の普及啓発、
0:00:17	現在について監視したいと思います。
0:00:20	じゃあ九州電力さんのほうから説明をお願いいたします。
0:00:24	はい、承知しました。九州電力のタテワキです。
0:00:28	それでは資料に沿ってですね、まず資料1と2の御説明のほうさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
0:00:39	九州電力の方向性と申します。まず資料1のほうをご覧ください。
0:00:46	まず、こちら資料1のほう持ちまして、SERENA原子力発電所1号機第4回の安全性向上計算補助について説明させていただきます。
0:00:55	説明するに当たりましては、リスクを早くほぼプレート説明者の担当が補填する場合がありますので、一番あらかじめご了承いただければと思います。
0:01:06	それでは早速資料内容について入っていききたいと思います。
0:01:09	まずそれを1ページ目になります。
0:01:12	こちらでは安全性向上の届け出書の本文の構成を1ページにページにわたって記載しております。
0:01:20	構成につきましては、運用ガイドにおける検討の傾斜を記載していくと同様の記載となっております、こちらからの電気センター変更はございません。
0:01:32	3ページ以降では、こちらを一緒に昇格内容について説明させていただきます。
0:01:39	続けて3ページ目になります。
0:01:43	こちら一章の関連性において法令の事務を正確にされた範囲について説明させていただきます。
0:01:50	一緒に記載更新いたしまして、こちらでは、IAEA安全ガイドCSTの現地の典型的目次に従いまして、
0:01:58	うん。
0:02:00	25年の目的事業者検査終了時点。
0:02:03	平成の一部のプラントの最新の状態を
0:02:07	下の図に記載しております設置許可等から、
0:02:11	作業としまして、各1から21の項目に沿っていけば、
0:02:17	情報を整理しております。
0:02:20	また今回特重施設がおかしいとなりましたので、そちらの情報についてもこの一章のほうに記載をしております。
0:02:30	続きまして4ページになります。
0:02:33	こちらからこちらがあれば、事象の安全性向上のために自主的に講じた措置のうち、2-1 安全性の向上に向けた継続的取り組みの方針について説明させていただきます。
0:02:46	まず構成といたしましては、社長の定めております。キカン五つのね品質方針にして参りまして、原子力に対するリスク意識の高めて安全文化のさらなる醸成を図り、

0:02:58	国内の新知見や教訓を社内の第三者の視点を生かしながら、やっぱり目指した原子力発電所の自主的かつ継続的な改善に取り組むことを方針としております。
0:03:11	また、施工評価目標、目的としましては、自主的継続的に隣接安全建設の安全性信頼性を向上させることを目的とし、原子力のリスクを合理的に実行可能な限り低減することを目標としております。
0:03:29	続けて 5 ページ目になります。こちらでは平均で工事の継続的取り組みをさらに体制について記載しております。
0:03:41	まず施工上取り組みに当たりましては、現実務を担当します。原子力発電部門だけでなく、全社の原子力の自主的継続的な安全性構造へというふうに取り組むための体制を充実させている通り定めております。
0:04:01	続きまして、6 ページになります。
0:04:07	こちらでは、こちらの図で示してますのは、安全性向上、継続的取り組みにおきまして原子力安全性向上のための諸活動というのは実施するに当たりましては一義的責任は当社が持っているものは当然、
0:04:22	ところですけれども、
0:04:24	協力会社またはメーカー等から活動支援技術的支援。
0:04:28	または影響自主規制組織からも助言等をいただきまして、それぞれとそれをもとに一体となって安全性向上の取り組みを行っていることをこの図に示しております。
0:04:44	続けて 7 ページ目です。
0:04:46	こちらでは安全性向上評価の実施体制等記載しております。
0:04:50	今まで施工で確認するに当たりましては、関係する各分野発電所等に協力いただきまして、前施工性評価を行うための調査評価を実施しまして、またその結果を踏まえて、そのペースを作成し、その内容について、
0:05:07	弊社の審議確認を行っております。いう行うに当たりましては書くような中で規制しております総合評定委員会という場で内容について審議をいただいております。
0:05:18	また、第三者の視点を生かすという面においては、
0:05:22	の乳井で記載しております。
0:05:26	原子力に関わるんですね信頼性向上委員会、こちらで外部の方の方々に
0:05:31	内部確認いただける状況というところです。
0:05:38	続きまして、8 ページになります。
0:05:41	ニシムラ所ベース対策としましては、全国的な発生確度 2 の緊急時対策緊急事態宣言発出並びに、
0:05:51	発電所関係者感染事案等を踏まえまして、
0:05:56	緊急事態宣言はして、地域への出張や外出の原則通信などの対策を強化を図りながら、随時改良していくこととなっております。
0:06:09	続きまして 1 ページになります。
0:06:11	こちらから議論に調査等について、日本化成の実施状況について説明させていただきます。

0:06:18	こちらのポンプでは、本件つなげられたものを二つに加えて、発電所の安全性及び信頼性のより一層の向上に資する自主的な活動を広げた活動の実施状況を調査しております。
0:06:31	調査期間としましては、閉鎖体系が4回目のセットでございますけれども、前回、第3回の本日以降評価調査対象期間の終了日だった2019年の11月2日から
0:06:44	今回の
0:06:46	第25定期事業者検査の総合化、
0:06:49	検査終了日である2020年12月10日までは難しいとしております。
0:06:55	○保安活動の実施状況の中には、
0:06:58	6ページに実績事業分子明白不安活動指標を定めておりまして、その白。
0:07:05	につきましては、2020年12月15日までの過去10年分ヌマタ1サイクル分の確認可能な範囲のデータを収集して評価を行っております。
0:07:17	評価項目についてですが、二つ目の白丸専用通り品質保証の活動等の含めたやつの項目について評価を行っております。
0:07:27	評価手法としましては、従来についてのんびりと手法名称と同様で中核改善活動について、その改善活動が保安活動の目的に沿って有効であったかと思う観点で活動して有効性を評価しております。
0:07:43	今回の評価結果につきましては、過去の活動の実施状況については、仕組み及び設備の側面で調査を行った結果、改善活動が婚活定着し、継続的な見直しが行われていることを確認しております。
0:07:58	また実績仕様の別表3の結果につきましては、やっぱ個々の活動の実施状況の資料というものは時間的な推移が安定してるもしくは著しい変化があった場合にも減額やっぱりされており、それに対して適切な対応が図られていることから、
0:08:13	ポンプ発動の時期には適切かつ有効であるというふうに評価をしております。
0:08:21	続けて10ページになります。こちらでは、活動の実施状況の中で抽出しました主な改善活動について記載しております。
0:08:30	まず一つ目の項目としましては、リスク情報活用した意思決定RIDMプロセスの構築を行っております内容としましては、従来の決定論的な評価の隙間に加えて、確率論的リスク評価から得られる知見と組み合わせ、より効果的に
0:08:46	リスクを低減し、安全性を向上させる仕組みとしてあるIDのプロセスを2020年4月から運用開始しております。
0:08:54	このIT-BIにつきましては、定着段階的なプロセス適用範囲の拡大を図っているところです。
0:09:00	続きまして、二つ目として、燃料取替用水タンクの安全性金属こちらにつきましては、ペレット3回の安全性向上評価するとき、ノ3倍ハザードに対する安全裕度評価を踏まえまして、その影響の結果を踏まえまして、
0:09:16	有料取りかえスタッフの頭に対する計算あったため20倍の定期事業者検査時に自主的に安全性向上コースとして上乘せされたと。
0:09:27	水を向ける屋根バンド溶接部について、

0:09:33	溶接線百姓伸長する工事を実施することで、ハザマに対する安全裕度を確保する交渉を行ったものです。
0:09:41	いずれの項目として、有毒ガス発生時の体制の整備に関わる社内マニュアルの改正及び追加、こちらにつきましては、有毒ガスのドーム対策を目的に、
0:09:53	有毒ガスの発生時の体制の整備及び外部事象の発生時の措置に関する教育を新たに追加しております。
0:10:02	三つ目の項目としまして、常設直流、
0:10:05	電源設備の設置工事、こちらの内容につきましては、
0:10:09	重大事故等時のさらなる信頼性を図るために、
0:10:13	技術基準規則に対応した直流電源設備である蓄電池及び蓄電池安全防護及び重大事故等体制を、ほかにもチケット特に高い信頼性を有する設備電源設備 33 系統目を設置しております。
0:10:32	もうな改善させとしましては、検証となります。
0:10:36	続きまして、11 ページになります。
0:10:38	うん。
0:10:40	自主的設備の設置状況及びその運用方針
0:10:44	こちらでは、発電所の本日より信頼性のより一層の向上に資する自主的な取り組みとして、
0:10:50	重大事故等の発生及び拡大防止システム多様性拡張設備及び追加的にある設備について調査をしております。
0:10:59	今回の調査の結果としましては、第 3 回という評価時点以降に新たに設置を新たに設置した先がなかったことを確認しております。
0:11:10	続けて、12 ページになります。ここからは国内外の最新の科学的知見及び技術的知見について説明させていただきます。
0:11:22	こちらの報告では、原子力安全に関わる国内外で得られた最新の科学的知見及び技術的知見について収集していて、それにそれらに対しまして、対応状況について記載をしております。
0:11:36	形を企画しましては、先に一本化する地震と同様、2010 年の 11 月から 2010 年 12 月 15 日まで
0:11:45	対象に評価をしております、調査内容としましては、今いつから⑥に示します安全に関わるTBqやぱりメーカーからの提案を行った情報をもとに新知見の収集を行っております。
0:12:00	13 ページになります。
0:12:03	23 ページ目では、今回の評価期間の中で抽出した新知見についてまとめております。
0:12:10	結果としましては、評価結果の反映が必要な新知見の取り込みについてですけども、今回調査して、今回の調査対象期間の中で新知見につきましては 22 件抽出しております、そのうち 1 件は、認知ですけども、
0:12:26	それ以外についてにつきましては、今日の
0:12:30	今ミキヤしてますので、反映して、新知見も考えないで、
0:12:36	安心というか確認しております。

0:12:43	続きまして 14 ページになります。
0:12:45	こちらでは、3、第 3 階層的に反映中とした新知見の現状について記載しております。
0:12:53	第 3 回届け出時には範疇お伝えし認識なさっているございましたが、今回の評価期間中に 1 意見を反映させております。またこれで意見については、まだ現状 30 距離的について対応を行っているところです。
0:13:11	続きまして、45 ページになりますが、こちらでは概算ということだけに反映要否検討中とした新知見の検討状況を記載しております。
0:13:22	結果としましては、未反映決定ファンド平均高中としていたものについて反映が必要というふうに判断した新知見は結果的に 3 件ございまして、こちらがさつきにつきましては、今回の府令抄
0:13:35	評価対象期間内に 3 系統の反映していることを確認しております。
0:13:40	これの件共通のCM級につきましては、
0:13:45	今後ともその進捗について、監視を行っているところです。
0:13:52	続きまして 16 ページになります。
0:13:56	いう公開の四番で施工性評価では、確率論的リスク評価を実施しております、その評価を実施するに当たりまして、プラント状態把握するための調査として、プラントプロジェクト実施しております。
0:14:16	失礼しました。
0:14:17	うん、続けさせていただきます。
0:14:20	うん。
0:14:21	何と膨らむ調査対象としましては、妊婦自身手続き守る対象となっております、それが例えば設備に対して図面との相違だったりユニット地震後のアクセス性及び現場の操作性の確認などを行っております。
0:14:38	結果としましては、評論させますとおり、構築したPRAモデルをグルーピングさせないように影響を与える要因がないことを確認してございます。
0:14:51	続きまして 17 ページになります。
0:14:54	こちらでは安全性向上計画というものが追加措置の内容について記載しております。
0:15:00	先に説明しましたように、調査等の中に踏まえまして、今回の評価で施工性評価の中で随分措置を抽出しております。その追加追加一つとしましては、運転時リスクモニターを用いたリスク評価及び監査
0:15:15	この抽出しております、こちらの内容としましては、
0:15:19	うん。計画概要を記載してますけど、2 プラントの運転時における各機器の運転状況に応じたリスク変動白紙リスク低減対策の検討や、さらに水位上昇の防止に活用することが目的にリスクのためには行ってくるところです。
0:15:35	こちらは計画として抽出しております。
0:15:43	続きまして 18 ページになります。
0:15:46	こちらで南-5 回評価の結果について記載しております。
0:15:51	まず一つ目のポツですけれども、原子力に関わる安全性信頼性向上による評価してるこちらではこちら委員会では、

0:16:02	先生方に計算内容を説明しまして、その内容についてちょっと検討いただいております。
0:16:10	また二つ目のポツですけれども、
0:16:13	イノベーション内容について調査分析解析等が広く理解されるべきさつき理解される記載となっているかわかってんで、各電力会社、
0:16:24	ゼビオ、
0:16:26	見出して実施しているところです。またその辺、そのレビューにおいて、いただいたコメントについてはこれですらに説明をして反映を行っているところです。
0:16:38	19 ページになります。
0:16:40	こちらでは先に復旧しました原子力やっぱり安全性信頼性向上委員会
0:16:46	いただきましたご意見議論
0:16:49	それに対して、排水対応について記載させていただいております。
0:16:54	今回のこの委員会においていただいた意見としましては、まず表の左側に記載しております。まず通り新たな改善について方向を示しているば 1 人体制とかだけでなく、新しいものを取り入れることで、どんなリスクが発生したかを考えることも重要であるというふうなご意見いただいております。
0:17:13	こちらに対する対応としましては、新しいものを取り入れることに伴い発生するリスクについては、RIDMプロセスで確認評価することとしておりまして、今後とも継続的に取り組みをするというふうに
0:17:27	対応を記載しております。
0:17:33	続きまして、20 ページになります。
0:17:36	こちらでは第 3 章安全性の向上のため自主的に講じた措置の調査及び分析のうち、3.1. 安全性向上に関わる活動の実施状況の評価について御説明させていただきたいと思っております。
0:17:51	今まで 3-1 の経年項目のうち 3-1-1、内部事象及び外部事象に関わる評価について説明させていただきます。
0:17:59	こちらの項目では評価して、における最新の文献及び調査から得られた知見及び技術的知見に基づき、
0:18:08	設計や安全評価の前提となっている。
0:18:11	何でしょうか。2 人でしょの評価を行っております。
0:18:16	評価の結果としましては、三つ目の黒丸のうち、一つの
0:18:21	結婚ますけれども、
0:18:24	設備を評価の数字条件を超えないまたは同等であること。
0:18:29	評価を見直すような知見がないことを確認しております。また適用者及び適用基準の改正内容とその影響を確認し、見直しの必要がないことを確認しております。
0:18:42	二つのチェックポンプですけれども、なお、審議の特性せずに策定する地震動、こちらにつきましては、今後の設置許可基準規則解釈及び審査バイトが改正の予定であることを確認しております、
0:18:57	それに伴い、設置許可設備高度化等の手続きを実施していく予定になっ予定となっております。

0:19:05	また、気象学的ハザードにつきましては、
0:19:08	詳細についての知見収集を行っておりましてね地形変更変動の影響を踏まえてもハザードの想定についての審査必要なことを確認しております。
0:19:21	九州電力のオダと申しますと、設定について安全評価について御説明させていただきますスライド 21 ページです。
0:19:29	まず上の決定論的安全評価の見直しについてですが、こちら保安活動や新知見に係る調査等に基づきまして、決定論的安全評価の変更要否確認しております。
0:19:40	確認の結果決定論的安全評価にいつて変更が必要となる項目はやりませんでした。
0:19:47	その次の項目ですか、特重施設に係る現実的なプラント挙動っていうことでは特重施設を設置しておりますので、
0:19:55	重大事故時、
0:19:56	60 発表した解析というのを実施しておりますその結果を記載をしております。
0:20:02	内容を御説明いたしますので、格納容器過圧破損事象に対してですが事項予定者に基づきまして特重施設設備による、
0:20:11	格納容器スプレイ炉心注水を活用した場合のプラント挙動解析っていうのを実施しております。
0:20:17	格納容器過圧破損事象については委員長としては、大破断LOCAとECCS注入失敗、格納容器スプレイ失敗というのがF1 以上のスタートになります。この図の中で、操作条件概略という図。
0:20:33	内容を御説明させていただきますと、まず下のところが各劣化後損傷平成設備のみを使用した場合の解約になっております事象が発生して炉心溶融が発生してその改正設備である常設電動注入ポンプによる格納容器スプレイによる核熱いけます。
0:20:51	続きまして長期的に拡大っていうのは自然対流冷却で確認いただく。
0:20:57	なんていうシナリオになってございます。それに加えて特重施設を使った解析、
0:21:04	操作条件というのが上の太枠で書いて、
0:21:09	事象発生して炉心溶融が発生しまして、
0:21:12	下のSA設備のみであれば、図面の中にポンプ核熱っていうとこなんですが、それよりも早く拡充設備昨年つくり実施できますので、
0:21:23	まず特重施設にかかる圧力を実施しますので、その後、下に書いてある核燃以西設備の使用の場合と同様で必要性を検討に注入ポンプによる確認薬に切り換えます。
0:21:36	タイミング特重設備によるポンプが炉心注水使用できますので、
0:21:45	そちらのほうに切り換えます。
0:21:48	その場所に抽選続きまして、衛生設備でありますけど住宅街のポンプを炉心注水準備が整い次第、こちらもには新設用切り換えます。

0:22:00	そして最終的にですが、スプレイについては特重設備による確認機に切り換えまして、
0:22:08	長期的に核抜き内自然対流冷却にするっていうのはシナリオになっております。
0:22:14	なお充填高圧注入ポンプの炉心注水については、
0:22:19	水源である。
0:22:22	みれ取替用水タンクが枯渇する。
0:22:26	初期に炉心実体は提出の想定というふうにしております。
0:22:30	今御説明した操作条件の考え方という高速で下のほうに書いておりまして、
0:22:36	まず現状の事故対応手順の自動信頼性火災時実績
0:22:41	いや、SA設備のみを使用する想定としております。
0:22:45	そして、手順の話ですが特重設備の準備が平成説明は早く完了した場合、特重設備を用いたらしい中にまた確認作りを実施する想定としております。その後、SA設備の準備が完了した場合は、既設設備による対応に切り替えることとしております。
0:23:03	あと特重設備により、
0:23:05	核熱スクリーン切り戻すような操作想定としておりますが、これについては大体、
0:23:12	燃料取替用水タンクですね、燃料取替用水タンクのホウ酸水
0:23:17	もう有効活用するために充填高圧注入ポンプによる炉心注水を実施した後核燃作りは前例の注入ポンプではなく、特重設備による対応に切り替えることとしております。
0:23:32	22 ページをお願いいたします。
0:23:35	こちらの解析結果
0:23:37	しております主な解析結果ですが、セシウム放出量と。
0:23:42	原子力乾燥時間について、
0:23:45	Pa設備を使用した場合のみ、
0:23:47	同Ss設備に加えて特重施設。
0:23:51	発表した今回の解析の結果表でまとめております。
0:23:55	特重設備の早期に格納容器スプレイを実施することで確認パートナー参照。
0:24:01	排水設備のみの場合ですね、よりも 60 説明書することでセシウムの放出量 2 割程度っていうます。
0:24:09	ヌマタ牧場設備で確認テストを実施すること。
0:24:13	燃料取替用水タンク炉心注水しよう。
0:24:17	もうする想定としておりますし、それによりまして、
0:24:22	原子炉容器の破損時間というのを大幅に遅延
0:24:25	160 時間も人力てる。
0:24:28	結果となっております。
0:24:30	本解析におきましてはによって取替用水タンクの枯渇により炉心注水を提出の想定こう

0:24:37	しておりまして、原子力はさみ以下っていうような結果になっております。ただし、やっぱり変えようとするスタッフの活用です。
0:24:46	日本って炉心注水の継続をして、原子炉容器破損に至る時間差 1 できる可能性が
0:24:53	あるという。
0:24:55	あります結果ちょっと解析したわけなんではないですけど、ちょっと補足しますので、さらなる安全性向上対策の検討についてですが、
0:25:04	4 ページの通り、
0:25:06	料金等々に資するため、翌日のさらなる活用シナリオ等を検討して解析を実施。
0:25:13	います。
0:25:14	次の二つ目ですが特重施設を活用した解析結果により、Csの放出量低減や原子炉は 3 時間。
0:25:22	うちの効果というのを確認できましたね効果が認められたかっていう方法についての教育っていうの実施して事故対応能力向上を図っていく。
0:25:31	もう
0:25:32	ます。
0:25:37	九州電力の河原木です。続きまして、また 208000 ますから、ヒアリングについてです。
0:25:44	まずは第 4 回安全性向上評価におけるPRA実施内容及び実施範囲についてです。
0:25:51	特に施設の設置が完了したことに伴い、特重施設を反映したPRAを実施しています。
0:25:58	実施内容としましては、特重施設の主たる機能である。炉心損傷後の格納容器
0:26:04	破損防止機能に着目しまして、重大事故等が発生した場合ですとされる様々なプラント状態のうち、
0:26:12	DBA設備とSA設備によるCVへの注水機能が喪失しているプラント状態において、
0:26:19	Fujii設備による格納容器機能喪失頻度へのリスク軽減効果を確認しています。
0:26:26	また格納容器機能喪失頻度への見つけ低減効果を確認するっていうことを踏まえて、自治配慮しましては、出力運転時レベル II の内部事象と外部事象をしております。
0:26:39	低信号で別につきましては評価書が未整備のため、対象外としております。
0:26:45	うちのページをお開きください。
0:26:48	右肩 24 ページ。
0:26:50	こちらはPRAの評価結果を記載しております。まず表についてですけれども、内部事象出力時磁性出力時サービスを受けるについて特重施設を反映していない場合、特定施設なしと特重施設を反映した場合、

0:27:06	追設反映時の格納容器機能喪失頻度の比較しており、各事象ごとに特重施設とも反映したことによる軽減割合を記載しております。
0:27:18	一つについては表グラフ化したものです。
0:27:21	それでは、次のページをお開きください。
0:27:25	右肩、25 ページです。こちら内部スプレイ系の
0:27:31	格納容器の法律のもとだ結果を示しております。
0:27:35	内部事象システム評価結果につきましては、
0:27:39	施設によるCV内注水及びフィルタベントに対することで、劣化モード学級%程度低減しております。
0:27:48	またキャビティ水張の資料として、特重施設による収益を期待できることから、より冷却失敗の発生頻度が低下し、後ろモードこちらが約 61%軽減しております。
0:28:02	次のページをお開きください。
0:28:04	右肩 16 ページ、こちらは地震出力時についての格納容器機能喪失モードとか結果を記載しております。
0:28:13	実力上の表のところについては、特定施設によるCV内注水及びフィルタベントに対することで、βモードは約 33%程度低減しております。
0:28:25	またキャンペーンみたいな仕事している施設によるスプレイに置き換えていることから、
0:28:31	NUL失敗の発生頻度は低下し、1 のものが約 7.8 パーセント低減しております。
0:28:39	私のほうで隔離施設によるCVが注水成功の可能性が上がったことで、
0:28:44	減少環境下部キャビティの水量が過量となる事故シナリオの発生状況上昇することに伴い、
0:28:52	痛む発生頻度は約 15%のMIMASあります。
0:28:57	続いて、右肩 27 ページです。
0:29:01	こちら津波水位についての格納容器機能喪失モードとは結果を記載しております。
0:29:08	最大出力 10 評価結果については固定施設によるCV内注水及びフィルタベントに期待することで出たものは約 59%程度。
0:29:19	提言しております。
0:29:21	一方で、昨日と位置付けて既設建屋が接続されていることから、評価上は特重施設の浸水に伴い、一部系既設建屋は新設すると仮定しております。
0:29:33	位置付け建屋申請による複数の信号系、
0:29:38	それが発生しています。
0:29:40	これ予想
0:29:42	そうずっと想定していることから、
0:29:44	その影響によりメーターほど
0:29:47	発生頻度が上昇しております。
0:29:50	またカンモードにつきましても事象と同様で住まいF10 施設によるCV内注水に成功する可能性があったことから、増加を示しております。

0:30:02	違う形状をお開きください。右肩 28 ページですね、こちらは感度解析による評価結果を記載しております。
0:30:11	感度解析では特定施設について、ベースケースの想定である設置以降、設置変更許可申請書の仕様想定を踏まえた発言限定せず、
0:30:21	福祉施設の柔軟な活用としてCVへの注水機能が喪失しているプラントの状態、いわゆる
0:30:28	特重施設を活用することや、特重施設使用後の発生設備の使用を考慮した感度解析を実施しており、その他を確認しております。
0:30:38	やはり表示ですけども、内部事象出力時線出力に関して独自についてベースケースと感度解析ケース 3 結果を記載しております。
0:30:51	これにつきまして表むらっとしたものです。
0:30:59	続きまして九州電力ニノミヤですね 29 ページをお願いします。
0:31:04	先週 37 の放出量 100 テラベクレルを超える事故の発生頻度といたしましてとかく放出カテゴリに対して、接種さんなど放出量及び発生頻度を評価してございます。
0:31:17	趣味 37 の放出量が 100TBqを超えるような事故の発生頻度といたしまして、内の事象に対して 2.3×10 のマイナス 7 乗パー炉年地震に対して 1.8 掛け 10 のマイナス 6 乗 / 年津波対し 4.1×10 マイナス 9 乗パー炉年と評価してございます。
0:31:36	こちらは 24 ページ右上 24 ページの特重施設の反映が発生頻度と図でございまして、で、こちらPRAに関しましては、セシウム放出量といたしましてフィルタベントに期待した状態で接種摂取がすいません、SA設備が必要できない想定で
0:31:56	60 施設である検討実施した場合のセシウムの放出量を評価してございます。評価結果につきましては、こちらあの表の一番下の放射性物質管理放出のところに記載してございます。見一番右側 0.79TBqと評価してございます。
0:32:14	こちら
0:32:16	※三番ておりまして平成設計漏えいが 0.78TBqフィルターベントが 0.009TBq というふうになってございます。
0:32:25	健全と書いてございます。0.32TBqでございましてけれども、こちら、大体安全性向上評価届け出は 3.2TBqで評価してございましたが、
0:32:38	原子炉格納容器貫通部等からの漏えい時に貫通部等における補充により粒子状の放出量を十分に低減する効果を反映しまして、自分の 1.32TBqということで記載してございます。
0:32:55	次のページをお願いいたします。
0:32:57	右上 30 ページでございまして。こちらへと被ばく評価ですね、先ほどの 0.79TBqと評価いたしましたシーケンスあの事故シナリオについて被ばく評価敷地境界における実効線量評価すればいいです。
0:33:12	評価事象は特重施設を用いたベントを実施し、炉心損傷が早く、事象進展中の原子炉格納容器圧力が高く推移することから、環境に放出される放射性物質の量が多くなり、被ばく評価上厳しくなる代表か。

0:33:29	ECCS注入失敗、CVスプレイ注入失敗を選定しております。
0:33:35	評価条件につきましては、前抗力交流電源協力電源喪失、原子炉補機冷却機能喪失監視制御機能の喪失及び直流電源事業喪失の重畳考慮して特重設備ポンプを用いた
0:33:51	代替格納容器スプレイ及び1次系設備費ターゲットを用いたってという食べてきたりしてございます。こちらはCSさなか放出量評価と同じでございます。できればベント実施のタイミングについては、特重施設による原子炉格納容器破損防止対策の
0:34:09	手順に基づいて設計してございます。1 だりしたり、評価イメージ記載しております。左側特重設 9 たベントのほうからも放出するということになってございます。
0:34:23	30
0:34:26	右上 31 ページをお願いいたします。
0:34:29	こちらへと被ばく評価の評価結果、
0:34:32	なっております。敷地境界における実効線量につきましては下敷き被ばく経路をご用意記載しておりますけれども、
0:34:43	五つの経路をこちらが第 1 回と同じでございましてけれども最初に線量クラウドシャイン線量、
0:34:50	三番がグランドシャイン四つ目がクラブ求人接種拒ん再浮遊吸入摂取ということで、と被ばく経路ごとの評価をやってございます。
0:35:00	で、こちらの係る敷地境界における被ばく線量として評価結果が厳しくなる商品を退職してございます。
0:35:08	評価結果につきましては三つ目の矢羽に記載しておりますサイレン方位の線量は 41 日イベントとなっております。影響の大きい経路は、クラウドバイトクラブないという結果になってございます。
0:35:24	被ばく評価におけるってという説明は以上です。
0:35:29	九州電力カワツですね、続きまして、右肩 32 ページです。こちらPRAの結果を踏まえたさらなる安全性向上対策の検討について記載しております。
0:35:39	今回特重施設を設置変更許可申請書上の主要争点踏まえた活用に限定せず、
0:35:46	重大事故等時における現実的な特重施設の活用を考慮してカンよかつ控除した会派解析によりリスク低減効果を確認できておりますので、
0:35:55	貯留施設の活用方法については教育を実施し、事故対応能力の向上を図ることを考えております。
0:36:03	なお近づける以降において、最初のプラント情報や一般的な水準に指定する評価手法等PRAモデルに反映するとともに、炉心損傷防止の特重施設のか、活用を含めて評価を行い、さらなる安全性構造。
0:36:19	対策の検討を実施することを考えております。
0:36:26	九州電力オオコウチです。続きまして 33 ページをご覧ください。
0:36:31	3 ページ以降は決算のうちの 4 安全評価について御説明いたします。

0:36:37	今回、第4回評価範囲としましては、施設の設置に伴いまして、いかに説明します地震津波、地震及び津波の重畳これらに対しまして、特重施設の下である炉心損傷後の核熱破損防止機能に着目しまして、リスク低減効果を評価しております。
0:36:57	評価条件としましては、引き続きまして、第1回目の届け出に向けた個人の喪失防災対策のゆっくりしないように、
0:37:07	ミヤジマしている施設用いた緩和操作を追加した未収説明の手数料を伺っております。
0:37:14	一つ目に、特重施設を活用した影響緩和につきましては、
0:37:19	平成設備により大きく影響変わったのが喪失した場合に期待します。
0:37:25	具体的には以下の二つのポツで記載してますとおり、
0:37:30	うん。
0:37:31	節の別に積み上げ贈与熱伝導注入ポンプ、格納容器スプレイに失敗した場合、または核燃自然対流冷却による基準利率三菱体制の充実を
0:37:47	代替として活用するようなスナダつってしております。
0:37:53	三つ目の見えますが、評価指標につきましてはないというふうに地震ですけれども、このような条件で許可をもらっております。
0:38:06	続いて34ページをご覧ください。
0:38:11	35ページ目からが評価結果について御説明させていただきます。
0:38:15	沼津評価結果①としまして、まずこちらの34ページで示していますが、地震における格納容器機能喪失。
0:38:25	防止対策についてのイベントツリーになります。
0:38:30	その議論と次の日上段につきましては第1項繰入人間抽出しております。
0:38:37	いうふうにしないようになりまして、
0:38:40	今回の特重施設を活用することで、点線枠で囲った各よりまずし、
0:38:47	影響緩和措置というものがあがる成功パスとして追加されております。
0:38:53	郵政成功パスのそれぞれの対応としましては、下水ここが水中の失礼しましたタイプ別に抽出しております。ゆっくりフーチング上は定期っていう
0:39:06	今回新たに作る施設の活用することによって抽出しました成功パスのほうは1.0Gというふうに評価をしております。
0:39:19	続いて35ページをご覧ください。
0:39:22	いうこちらではにおける破損の機能喪失、
0:39:28	5000における水位を示しております。
0:39:32	違うにつきまして、上段で示してはいますのがない設備に抽出した。
0:39:38	イベントツリーとなっております、日本海独立を活用することで、地震部分及び
0:39:44	うん。先生のマップの中に設置しますとおり、常設電動注入ポンプによる熱で、こちらに失敗した場合に、ちょっと実用して、後で説明イベント、こちらを行うことで、格納容器の
0:39:57	機能喪失を解決するようなですね、或いは今回新たに追加として追加して抽出されております。

0:40:04	こちらのシナリオ耐力につきましては請求パス成功パスどちらも 10m というふうに復興しております。
0:40:14	続けて 36 ページになります。評価結果②と記載しておりますけれども、こちらの評価結果についてにつきましては、さっきご説明しました評価結果①からさらに健康として、より柔軟な活用、
0:40:29	ふうん。
0:40:31	アゼツといいますのは、施設使用後にまたさらに再度 SA 施設の
0:40:37	機能に期待をするっていうことを考慮した場合の特例説明効果を確認しております。
0:40:46	に際しましてイベントツリーが地震における評価結果となっております。
0:40:51	さっきの評価結果の 1 の場合ですと地震における地震時発生時の特重施設のリスク低減効果というものは成功パスが増えたことを示しておりますから、こちらは所の施設使用後に、
0:41:07	再度申請設備による
0:41:12	サポートすることで、成功パスが作っていることを指しております。
0:41:18	それぞれの施工場所につきましては、成功パスにサンプルこちらは入れていくという形で設計は続きの理論が、
0:41:25	言っただよようにっていうふうに評価をしております。
0:41:30	37 ページになります。
0:41:33	こちらは 47 活用っていうものを重複考慮した場合のみ津波発生時オペレーティング物量さしております。
0:41:42	こちらはさっきの地震と同様で、平成の中にされていますという衛星設備。
0:41:49	うん作業機能に対する結果は 17 ページの活用を考慮するというので、
0:41:55	さっきのベースさっきの整備では、
0:41:59	成功パスが一つ増えたことを記載しておりましたけれども、今回の活用によってさらに二つ、CAPE 道の成功パスが増えていることを確認しております。
0:42:09	エコスにつきましては、平成ここ数値カン宗教発生ぶれも 15m というふうに評価しております。
0:42:20	次に 38 ページになります。
0:42:23	向こうから行いますが、安全性評価のまとめとしまして、今回の評価につきましては特重施設によるリスク低減効果密着した評価として、第 1 回評価結果における地震津波という設置の
0:42:38	研究所が発生した場合に、特に施設活用
0:42:42	特に施設を活用するとか、格納容器の喪失を防止する成功パスの対応型であるとかを確認しております。
0:42:51	だから結果を踏まえまして、さらなる安全性対策の検討としまして、
0:42:55	特に施設の活用により、
0:42:59	これ昨日防止喪失を防止する成功パスのテーマについて整理したイベントツリーを視覚的に理解することで、
0:43:06	重大事故時の

0:43:08	事故収束対応のビジネスの向上に繋がることから、本評価結果教育を実施することを検討しております。
0:43:17	なお今後、評価スケジュールとしましては、ないように、
0:43:21	施設の重大事故等への活用を踏まえた炉心損傷漏水によって、
0:43:27	施設に対する評価を実施しまして、関連して工場でたつけを実施していくこととしております。
0:43:36	はい。当九州電力のカンですと最大値、右肩 39 ページ以降が 3-2、安全性向上に関わる活動の実施状況に関する
0:43:47	評価、こちらについて御説明させていただきます。
0:43:50	もともとこちらのほうにつきましては運用ガイドでいきますと 10 年ごとの実施が求められているものにそれは後程資料 3 で御説明しますと改善事項にもあるようにですね、今回の新規制基準適用から一定期間経過していったこと、またトピックせたいと思います。伴いまして、各種評価を実施していることから、
0:44:09	今このタイミングでこの中長期的な評価を実施しております。
0:44:14	また評価に当たりましては、議題特定安全ガイド販売説示 25 に基づき、実施しております。
0:44:22	39 ページのところのポツなんですが抽象的な評価の目標目的のところで行きまして、ほかのレビューを通じて効果におきましては、
0:44:33	国内外の最新の知見を参考にプラントの安全性について、中長期的な観点から及びを行いまして、高いレベルの安全性確保を目標にこれを達成するために今後実施すべき改善事項を抽出することを目的と、
0:44:46	というのはどの立てまして実施をしております。
0:44:50	また、対象機器につきましては、先ほど一緒に対象期間が第 3 回届け出も評価点 5 というような形でスタートしておりましたが、こちら中長期的な中長期的な評価ということもありまして新規性基準適合ということで設置許可に 2014 年 6 月 10 日から
0:45:07	今回の提携の主蒸気 2020 年の 12 月 15 日までを評価対象としております。
0:45:14	またこちら 25 の中ではレビューする安全意識というものが定められておまして、こちら伝え記載の遺跡 1 から 14、
0:45:25	安全意識についていっす単位でレビューアのほうを行っております。
0:45:31	続きまして見方 40 ページをお願いします。
0:45:34	こちらでは安全一流の方がいろいろ説明を記載しております。
0:45:40	先ほど御紹介しました重要な安全 1 基にですね、Review項目というものを設定しましてこちらに記載のあのフローに従って日のほうを実施しております。
0:45:51	Review項目の提案っていいってどういうものが一括というところで行きますと、40 ページの右下の発生で格好しておりますが、SGTプラント設計のNo.1 の日項目記載しておまして、一つ目の項目としては安全上重要な施設のリストが完全かつ適切であるかっていうふうな仮定で理事をなさうというふうになっております。
0:46:13	こういうような項目を拡充 4 日ごとに設定してdBを実施していくようなばいになっております。

0:46:19	具体的な流れのほうが左側の図のほうでフローで示しておりますが、まず最初に調査等というふうな項目がありまして、文書の収集等によりレビューをする上で必要な情報というものを調査します。
0:46:32	その後安全意識の総合調整を行った上でReview項目ごとに結果をワイン満足かへの満足してないの二つに分類を行います。
0:46:43	その次の項目としましては調査結果の評価分析というふうな項目がございます、こちらは先ほど調査の結果アルバイトNTTな二つに分類出てくるんですけど、これは好ましい証券化改善の余地が見込まれる証券化の二つに分類を行います。
0:47:01	また改善の余地が見込まれる所見につきましては、さらに三つの分類を行います、こちらの項目は
0:47:09	適用までにさらに検証が必要というふうな知見が含まれる場合がありますので、そういう場合には合理的かつ実行可能な改善策をとってできない所見丸一ホールドというふうなデータ整備でよく
0:47:22	二つ目の
0:47:23	としてはすでに
0:47:25	改善の余地が見込まれるような職員が確認されたんですがすでに対応計画等がモリカンして実施中のものであったり、これから実施質問につきましては、新たな対策が必要と考えられない所見として、今までに対応不要といった形で整理を行います。
0:47:40	最後三つ目が今後対応が必要な所見というふうな部分になりまして、こちらはCR下降としまして100のプロセスの中にあります、この事象レポート状態報告ということで気づきを停止し合うとして発行しまして、やっぱりプロセスに従い、処理をしていくというふうな形になっております。
0:48:01	今のところがすいません流してしまったんですが、左側の改善の余地が見込まれる条件の安全重要度というところでCRを発行したのものについては、やっぱりプロセスに従いまして、100、いわゆる原子力安全に影響を与えるでしょうか。
0:48:16	それとも分 100 決定とそ影響は及ぼさないでしょうかというふうに分類して、重要度評価を行います。重要度に応じて各いえ。
0:48:26	南海で構造物のほうも検討して実施していくというふうなのはプロセスで細かくプロセス的にやっております。
0:48:33	続きまして、右肩 41 ページのほうをお願いします。
0:48:37	こちらに安全維持できる結果の一覧表のほうの決壊しております、左側が安全市の記載しております、その安全所帯箱書きで記載しているのが安全仕事に設定したレビュー項目数を記載しております。
0:48:52	右側のレビュー結果ではいって満足してるものが何点N満足してないものが何点というものを記載しております、優しておりますが、につきましては、
0:49:05	1 のうち好ましい所見下を書いておりますが現在の事例が最新の規格において確認されている良好な事例より高いパフォーマンス

0:49:14	調書とこれものかっていうところの判定をかけて記載しております。また、Nにつきましては改善の余地が見込まれると建築士に分類して対応を実施していくというふうな中で気になっております結果は示してチェッカーにつきまして減るというふうに判定されてるものを中心に次の
0:49:33	42 以降で御説明させていただきます。
0:49:37	42 のほうをお願いします。
0:49:40	こちらはSB半年以上 14 年精神の現状というふうな安全指針に対して得るといふふうに確認されたものを記載されております。
0:49:49	一つ目のれる項目としては 1 チップ化に関する安全上重要な年摂取の現状確認するというふうな項目がありまして、これをレビュー結果としましてはNで、内容としては、ATENA産のコードですね設計の継電器が管理がよってというのが立てられて出されてますが、
0:50:06	これに基づいた対応というのは計画を立案して対応されているところなんですけど具体的にアウトプットされるものはありませんでしたので、Nというふうな形でしております。
0:50:16	証券の整理としてはいい改善の余地が見込まれる所見で分類としては、実際の対応計画立案して対応実施中のお手数で新たなものは不要になるというふうな形の分類にしております。
0:50:28	どういう項目がS2 のところから上がってましてその他の項目があげ上重要SCの即座に対応機器が機能を利用することができない製造中止品の依存度を確認するというので、こちらのはてな部会の方で生物資金管理ガイドというのが立てられているんですが、
0:50:45	これに対する具体的な対応が必要ではなかったもので、委員っていう形で分類をしております。
0:50:52	ヌマタの所見の分類の結果、余りにも対応不要は先ほど検討同様になっております。
0:50:58	続きますつらい 3 日で 43 ページをお願いします。
0:51:03	こちらが欠席 6 確率論的リスク評価のうちNTT補正されたものを記載しております、
0:51:11	一つ目の項目でいきますとTRM及び現在の設計及び運転特性を反映していくことといったアゼツ会館する項目が、こちらの報告とかしのきありまして県域まとめて記載させていただきます。
0:51:25	またその下もレベルも先に御説明させていただきますと、PR衣装される解析条件以降について経営層の妥当性をというふうなところでの解析条件のベストエスティメイトペ最適化に関するものが他に経産案件をまとめて記載しております。
0:51:42	ベビーカーとして以前に判定しておりまして、一つ目のほうも、本件については、今回の届け出は、基本的な特重範囲を踏まえて評価というところで使ってる手順等も設置がベースに意見としてなっているところで、

0:51:57	下の項目の各所に報告につきましても伊方プロジェクトにおける知見というのが出てきてるんですがまだ反映できたものとなっていないということで、Nというふうにしております。
0:52:06	こちら所見の整理としては二つとも改善の余地が見込まれる職員に分類しまして、証券の分類はCR発行ということで必要としては逆に分類して赤い出来上がって今回立案を行っております。
0:52:19	いずれも後程御説明させていただきます。
0:52:23	続きましてスライド 44 のほうをお願いします。
0:52:27	こちらがSFP中のハザード解析につきましてもLは確認されたものでして、日項目としてはアラート開始評価において必要性評価事項等が妥当であることというふうなところです。こちらは先ほど 3-1 で御説明があった所当直するのですが、
0:52:46	レビュー結果の分析としましては時ハザードについては、規制庁さんのほうでの検討チームの報告書、就業特定せずに関する検討報告書が踏まえた記述平気で長期受注開拓予定されているため、
0:53:02	ほかに余地が見込まれる所見に整理をしております。またこちらも評価してのタイミングでは詳細を見ていただいたことから、所見の分類としてはこういう
0:53:11	まず一番の分類に実施をしております。
0:53:15	続きまして言い方 45 ページをお願いします。
0:53:18	こちらの改善が見込まれてるっていうのも一つ原因生活の安全に関です。
0:53:24	じゃあのレビューの項目としては、放射性被ばくと解決に関する火報月指標PIについては、それが指定されてる範囲内であることでその範囲によって解析で十分に可能であると確認するというふうな項目となっております、
0:53:39	この結果としまして、出席被ばく線量的なリスクがこれが 2018 年、2019 年に目標値を超える結果となっているということから、ppt半径を行っております。
0:53:50	ただこちらあの周辺の部分としては、うちが見込まれる所見というふうにしておりますが、
0:53:56	2019 年のほうで 2018 年、2012 年ともに改善計画立案されまして、2020 年につきましては、目標値で推移していることから安全性対応という意味での対応不要としていた設備分類をしております。
0:54:11	最後言い方 46 ページをお願いしますってこちら側をちょっと強化に関するまとめを記載してございまして、先ほど御説明しました通りSF6-5 件についてCR発行して保険事業象脚と整理の上での本改善計画のと、
0:54:27	下の表の通り計画通ります。
0:54:30	乗り出した件名としましては、一つは、最新の図面手順のPRAモデルの反映、もう一つはPIM出ればいい方プロジェクトにおける改版し、専門家から指摘を踏まえた試験の範囲ということで、自治体等の機器等はかっていくということ
0:54:46	エネット、今後の安全性向上対策として立案を行っております。
0:54:52	3-2 の抽象的な評価に関する御説明としては以上です。

0:55:00	はい、九州電力のオオコウチですよ 48 してしまった当時、7 ページをご覧ください。
0:55:08	ということで、この後説明的な風景におけるのうち 4 名について評価結果としてですね。いただきます。
0:55:16	今回の評価で植樹評価の想定結果としましては、基本する市長からの質問内容踏まえ上記安全性についてそれぞれですね。
0:55:26	ミキヤにつきましては、まず調査につきましてはシュトウ。
0:55:31	六つのポストの有意味ですけども、今回中期評価の結果を見まし書店運営される職員というのはありませんでしたが、選定設定した報告の部分については、最新の規格基準系設備を基本的な姿勢等々であることが、
0:55:48	確認しておりまして、これらの結果は十分に取り組んできた活動は確実に自治体ごとに見てでき上がった結果というふうに評価をしております。
0:55:59	また%につきましては、今回行います中長期的な評価の結果、郵政付録確率論的リスク評価のほうからですよ。そっち方向が沖積ますが、こちらにつきましては、
0:56:13	リスク情報活用の確認に向けた取り組みを実施しているという段階にあること。
0:56:18	ほかに御ミキヤでは特に設備設置によるリスク低減効果を確認する、しまして、
0:56:25	船舶する関係にから確認で積極的に構築したPRAモデルを活用していることというふうに評価をしております。
0:56:38	続けて 8 ページになります。
0:56:40	ヌマタ町ですっていうのは、これまでに外部評価によって、
0:56:45	いただきました御意見に対する対応状況について整理しております。
0:56:51	今回日本海てるわけで、中で更新後項目につきましては、あるい 48 ページに記載しております二つの項目のうち二つ目のこのなります。こちらのほうでグループとしましては、
0:57:04	下段でしよう原発の実施状況において選定しているか、活動実績費用につきまして、
0:57:11	これまでは、
0:57:12	いずれも行っていたということは全部で定めておりました実績指標、こちらを継続して、
0:57:21	情報収集を行いまして評価を行っていくんですけども、その指標について見直しを図る必要があるのではないかというふうに思っております。
0:57:29	こちらにつきましては、平成 20 年の 4 月から
0:57:34	原子力規制検査はどういう意味合わせまして、
0:57:37	118 項目、
0:57:39	もう
0:57:42	僕は出させて失礼しますの重さっていう
0:57:47	観測項目の見直しを行っておりまして、現在、コマースカワツとして 118 項目のAPI監視の実施をしているところです。

0:57:55	うん。
0:57:59	この分析する傾斜の教員数かけるという整理については 518 項目の式をもとにして、今後、それでちょっと指摘させていくべき指標について、成否をしていくこととしております。
0:58:12	続きます 49 ページになります。
0:58:15	テラサキせておりますけれども廃用蒸気の影響しました項目としましては、一つの項目となりますけれども、基礎検討については、最近の変動が激しく原子力に限らず、注意が必要である。
0:58:31	今後の課題となるが、原子力としても注視していただきたい。こちらの対応につきまして国内ました 3. 中長期的な評価につきまして、
0:58:42	IAEA安全の平成 25 設備を実施しております、
0:58:47	その中で定めた整備項目で、最新の気象関係ハザードについて確認を行っております。
0:58:55	この方法の継続的な情報収集を行っていくところしております。
0:59:00	続きまして、三つ目の項目になります。
0:59:03	床面に対する評価ではですね、建設許可申請机上の話をする設定して検討するところについては評価をいただいております、今後、このため、評価とどまらず、継続的に取り組んできを呈するといったご意見もいただいております。
0:59:20	こちらの対応につきましては、
0:59:24	名中長期的な評価において新たに関する評価を行っております、安全裕度評価の再評価の必要性があるところにしております。
0:59:34	今後の安全評価上とりますが、精神の資金は一種評価手法を収集しまして、さらに安全性向上に資する活動に継続的に取り組んでいくこととしております。
0:59:49	続けて 50 ページになります。
0:59:51	こちらからは以上に安全性向上計画についてご説明させていただきます。
0:59:58	iPhoneでしょ構造に向けた環境一律的な方針としましては、
1:00:05	今後の活動は別の実施を基本としまして、追加記載しております IRID のプロセスの定着と段階的に拡大したと言いました安全性向上に向けた短期的、
1:00:19	今、剛心によりまして、今回の本 PRA で抽出したんですよこれ資する措置を確実に実行することによって、発電所の安全性向上に努めていく方針としております。
1:00:32	下の表につきましては、
1:00:34	水のポツで書いております通りほぼここで施設を踏まえた評価の評価のスケジュールについて記載しております。
1:00:43	第 3 項
1:00:45	のですねこういう評価においては、重大事故等への活用を含めた炉心損傷防止の破損防止対策に対する評価を実施することとしておりまして、安全性向上に向けた検討を実施していくスケジュールをこちらには記載しております。
1:01:03	受けて、51 ページになります。後日ページには、今回こういう評価の中で抽出した追加措置の計画について記載しております。

1:01:14	今は勝則集中センターについては期末としましては、2 ページですね、追加リスク評価、管理、こちらにつきましては、実施時期としましては、2021 年度下期、
1:01:26	また日程のPRAですのでそこは切り詰めたすいませんとしましては、直通施設を活用することでリスク低減効果を確認しておりますのでそちらの内容を踏まえたところですと活用した評価結果についてこちらにつきましては、
1:01:43	できない社内で行っております教育の中の
1:01:47	教育の中に取り込むとして適宜行っていくこととしております。
1:01:53	続きまして、安全性向上とか宇宙と聞けない評価によって抽出された追加設備としまして、意見が出ておまして、
1:02:00	沼津市ですね、経験者のPRAモデルの範囲で抜けば、いわゆるM-
1:02:07	向ける海外炭専門家からいろいろ指摘を踏まえた知見の反映、こちらについては対応体制の再抜本的に、
1:02:17	こちらの措置を実施していくことを計画しております。
1:02:24	続きまして、52 ページにあります。
1:02:27	こちらではないかな。3 回のときに見てチェックされました、そういったことを実施状況を記載しております地震力につきましては、2021 年 3 月 31 日となっております。
1:02:40	今回、第 4 回でそこで評価によっては仙台川内 1 号機における第 20 回定期事業者検査終了までの期間、
1:02:50	評価対象記載して評価対象としておりますけれども、
1:02:54	実施時期として、第 20 回定検
1:02:57	で実施を予定しておりました 3 件。
1:03:01	次抽出した追加措置につきましてはすべて完了していることを確認しております。
1:03:07	また、25 ページ以降の定検で行って生活につきましても、継続的に
1:03:14	もちろん抽出追加措置に対して行っていることを確認しております。
1:03:23	以上で川内 1 号の内容ですので、評価の概要について御説明／以上でございます。
1:03:34	九州電力シモシライシで資料 2 をご覧ください。
1:03:45	続きまして、現在原子力発電所 3 号機単体で安全性向上評価届け出書の内容について御説明させていただきます。
1:03:53	玄海 3 号につきましては、先ほど御説明いたしました川内 1 号機業界安全性向上評価届け出書の相違点を中心に御説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。
1:04:05	まず 1 ページ目、2 ページ目ほど傾斜の複数工程を記載しております。届レーション構成につきましては、先ほど御説明いたしました川内 1 号第 4 回ちよつと投与なりません。
1:04:17	続きまして、3 ページ対処について御説明いたしません。
1:04:21	構成につきましては、平成一対一の第 4 回部と同様になります。

1:04:26	主な相違点といたしましては、時重大事故等対処施設、常設直流電源 3 系統目のがまだ設置されていないことから、その実際行っていないことが挙げられます。
1:04:37	続きまして 4 ページ目からの議論、御説明となりません。
1:04:43	4 ページ目から 8 ページ目までいって全体地方部そのペン相違点ございません。全体坪第 4 回と同様の御審査体制について、玄海 3 膨大角度ページにおいては作成しております。
1:04:56	また 8 ページ目に進学行うリース対応に関する記載をして経営しているのですが、系統、こちらに関しても同様で九州電力の旧対策につきましては、現在、原子力発電所におきましても世帯結論発電所と同様、
1:05:11	対応方針を立てて対応を行っております。
1:05:14	続きまして、9 ページ目からの活動実施状況について御説明いたしません。
1:05:20	まず保安活動の調査結果につきまして、現在、3 号機につきましては、2019 年 8 月 21 日から 2020 年 12 月 20 日の調査期間においてへ行ったばっか活動取りまとめておりません。
1:05:35	また、実績指標につきましては、閉 2020 年 12 月までの十年間また実績レベルの確認可能なデータを評価しております。
1:05:45	評価項目、局所は平成だって同様に、評価結果につきましても、それで同様の活動の改善状況について、改善活動博士定着して継続的な見直しが行われていることができました。
1:06:01	また実績指標につきましても、調査結果を適切かつ有効であることが示されました。
1:06:08	続きまして、ちょっとページをご覧ください。
1:06:16	10 ページで、主な保安活動における改善活動について、3 点挙げさせていただいておりますので、ご紹介させていただきます。
1:06:25	一つ目と二つ目 2 点目です活用を配備する情報活用した県立決定RIDMプロセスの構築と営業統括発生時の体制の整備に関わる社内マニュアルの改正及び教育の追加、この 2 点に関しましては、
1:06:43	返答も、仙台 1 号第 4 回届け出書において先ほど御説明させていただきましたのでちょっと割愛させていただきます。3 点目と 2 次系シーケンス盤更新及び制御用地震計報酬についてはですけれども、
1:06:58	こちらにつきまして、1 点、すみません、こっち修正をお願いいたしまして、玄海 3 号につきましては、更新前の地形C決算におきましても、別冊となりますので、系統、
1:07:09	4 行目のアナログ式からといった定義に記載の削除をお願いいたします。
1:07:17	改善内容について御説明いたしますと、閉既設の設備は設置から非常に異常が計画し一番部品が製造中止品となっていますので、一部の部品学校カンの状態だっております。また
1:07:31	経年劣化による負荷が懸念されるということから、第 15 回定期事業者検査時に 2 次系シーケンス盤を最新のデジタル式に及び制御用神経を機械式神経から電気敷地神経と更新いたしました。

1:07:48	細かい改善活動につきましては以上となりません。続きまして、11 ページをご覧ください。
1:07:55	11 ページにつきましては、別途センターと同様、多様性拡張設備が追加的に配備した面接については、前回同様、前回届け出から新たに設置させないことを確認しておりません。
1:08:09	経営続きまして、12 ページをご覧ください。
1:08:14	12 ページから、国内外の最新の科学的知見及び技術的知見に関して御説明いたします。
1:08:21	調査期間につきましては、現在参考でつけまして、2019 年 8 月 21 日から 2020 年 10 月 21 日の企画としております。
1:08:32	調査内容につきましては、全体 1 元及び
1:08:36	続きまして、13 ページ目をご覧ください。
1:08:40	13 ページ目から 15 ページにシンチに関わる調査結果について取りまとめております。
1:08:46	件数につきましては、センター1 号と調査区間の地形から建設場所の違いがありますが、平成 13 ページに記してあります通り収集した情報から経緯反映要否を検討し、汎用として新知見が合計 26 件。
1:09:01	そのうち単一のものが 4 件ありまして、これ 20 件をすべて反映をしております。
1:09:08	続きまして、14 ページをご覧ください。
1:09:13	14 ページ第わけですね、反映中とした地点の検討状況を示しておりません。
1:09:19	大体届け出時に反映中とした 3 件のうち、1 件はげ中ほ状態が続いておりますが、やっぱり意見に関しては、反映すると貼っております、水引き続き配置のものにつきましても搬入後していく。
1:09:36	行くように進めております。
1:09:39	続きまして 15 ページをご覧ください。
1:09:42	大体届け出届け出時に汎用品検討中とした知見の検討状況となります。
1:09:48	汎用機検討中としたものが合計ダイクか続けて次 45 件ございますが、その地質的になりますが、必要なものとして、4 点、
1:10:01	範囲が必要な人として分類させていただきまして、そこにつきましては現在汎用機を継続的に検討しております。
1:10:11	シンチに関する内容は以上となります。続きまして 16 ページをご覧ください。
1:10:19	現 0 ページにプラントワークダウンにつきまして御説明いたしますプラントワークダウンにつきましては、玄海 3 号機におきましても、大きな変更はなく、PRAストレステストの変更を行っていないため国家実施しておりません。
1:10:32	続きまして、安全性向上計画について御説明いたしません。
1:10:36	安全性向上トピックにつきましては 4. 基本活動から追加設置を抽出いたしましたので御説明いたします。
1:10:44	施設管理につきまして 3 件、原子炉容器出入口管台溶接部計画保全工事発電機のやつはほぼ学校新補訂は運転対応設備導入、そして緊急時の措置会

	見排水ポンプ取替工事を今回AirCore活動及び円柱視察生活してあげております。
1:11:05	続きまして、17 ページをお願いいたします。
1:11:09	抽出した通貨措置につきまして記載される効果を示しております。
1:11:17	また、耐専生活につきましては、既存の体制で運用可能となることから、小さく公開されておられません。
1:11:27	安全性向上計画に関する内深さ以上となります。
1:11:31	続きまして、
1:11:33	18 ページをご覧ください。
1:11:37	計 18 ページに外部評価で記載していません。まず 1 点目、原子力に関わる安全性信頼性向上しかりにおける評価件目に電力各社による届け出それに
1:11:51	について記載させていただいておりますが、こちらの内容を検討も
1:11:56	前回と同様にしております、19 ページに示しておりますように、いただいたご意見に関する対応も全体と同様、実績実施していく予定となっております。
1:12:08	続きまして、20 ページをご覧ください。
1:12:14	20 ページからご参照に関する記載についてご説明いたしません。計算書につきましては、今回大規模な工事を行っていないことを払って第 1 回か記載内容を行っております。
1:12:27	平成 32 のページ、中長期的な評価達するページ内容につきましては、冷凍の特定重大事故等対処施設設置法の届け出実証から予定としております。
1:12:40	1 ページ目から総合的な評定として系統的／取りまとめております 21 ページをご覧ください。
1:12:51	時委員会原子力発電所 3 号機がベントの評定結果としまして、先ほどから現在まで安全反転 4 継続しており、保安活動の中で設置されております。今回実施した調査または評価を踏まえた対象から第 3 章までの内容から、
1:13:08	評価結果を見直す必要がある調査結果また評価結果がなくて、大体届け出から変更は特にないといった結果となりました。
1:13:16	これまでの外部評価の対応状況について、以下に示させていただいてるんですけども、こちらに関しても川内と同様となりますので割愛させていただきます。
1:13:28	続きまして、23 ページ、安全性向上計画について、ご覧ください。
1:13:35	先ほどご説明しました保安活動により抽出された生活地の要件に関しましては、いずれも第 16 会計適正さで実施を検討しております。
1:13:49	最後に 24 ページ。
1:13:52	玄海 3 号代替届け出事務抽出された措置の実施状況について記載していません。
1:13:58	現地作業としているものにつきましては完了という記載を実施状況の欄に挙げさせていただいておりますが、原子炉安全保護盤保護計装バックを惜しん
1:14:10	原子炉容器上部ふた取替として特定重大事故等対処施設による格納容器スプレイ及びフィルタベントの導入につきましては、現在対応中としておりまして、うて計画について全体を行っております。

1:14:27	教育関係につきましては、今後定期的に実施をして安全性向上に資する活動を継続していく計画としております。
1:14:35	これをもちまして玄海 3 年間発生向上評価届け出書に関する御説明は以上とさせていただきます。
1:14:45	はい、九州電力わけですね。
1:14:49	資料の説明は以上でいただきたいと思います。よろしく願いいたします。
1:14:54	ミキヤです。
1:14:59	まず、
1:15:01	わかりました。資料 1-2 の関係でございます。
1:15:05	うん。
1:15:07	全体の
1:15:08	3 章のところ、
1:15:12	いや、一定の
1:15:16	うん。
1:15:18	議論されるんじゃないかなと思いますけれども、
1:15:38	特に入り込まないと思うんですけども、配置図であります非公開のところやったほうがいいのか。
1:15:43	はい。
1:15:53	はい。
1:15:56	資料について、
1:16:07	はい。
1:16:09	はい。
1:16:18	実際、
1:16:22	そういう考えで、
1:16:24	これ、
1:16:28	はい。
1:16:29	うん。
1:16:32	はい。
1:16:33	はい。
1:16:34	ふうん。
1:16:35	高橋です。
1:16:39	うん。
1:16:42	すみません。
1:16:46	そうですね。
1:16:49	はい。
1:16:50	下が、
1:16:54	です。
1:17:03	ですね。
1:17:09	はい。
1:17:10	うん。

1:17:11	はい。
1:17:12	そうですね。
1:17:14	そうしたんですけど。
1:17:17	はい。
1:17:19	うん。
1:17:23	ないので、
1:17:26	それをですね。
1:17:28	はい。
1:17:29	安全委員会終わりますとですね。
1:17:36	そういうお話をお願いします。
1:17:43	はい。
1:17:52	はい。
1:17:53	どうぞ。
1:17:57	はい。
1:18:00	へえ。
1:18:07	はい。
1:18:10	そうですね。
1:18:13	20
1:18:15	ですけども、
1:18:17	はい。
1:18:28	はい。
1:18:30	硫酸ですね。
1:18:36	はい。
1:18:40	放射線
1:18:42	うん。
1:18:45	さっきですね。
1:18:49	うん。
1:18:50	よろしいですか。
1:18:54	うん。
1:18:55	100 をしてください。
1:18:59	もし、
1:19:01	そうですね。
1:19:04	今後、
1:19:07	うん。
1:19:31	九州電力の秋山です。
1:19:33	五つ目のほうは、資料に追加をするということでよろしいでしょうか。今説明ということで 8 月以降ということでよろしいでしょうか。
1:19:43	資料については、

1:19:51	すいません 900 の管理数と最後確認したいんですが、例えばスライド右方 10 ページのところで行きますと、現状取替用水タンクの安定性向上工事で、そこを工事したのかなとづらいというふうなお話だったと思います。
1:20:07	こちらがですね川内 1 号機の第 3 回安全性向上評価で実施した内容でして、過去の面談等でズーツ等で御説明してるところでして、それを採決するようなイメージ。
1:20:19	いいでしょうか。
1:20:27	また、
1:20:32	九州は。
1:20:35	はい。
1:20:36	うん。
1:20:41	承知しました。こちら面談資料の中では次のページ等で、
1:20:47	イメージ図であったり、効果というところで行きますと下階もともと想定してたよりもより大きい手数料といいますか、田辺層と想定して 25cm というものを第 3 回統計のときに、
1:21:00	評価を行ってましてその際に行くのと除灰等の倒さ何も考慮しない場合の裕度というのが 1.10 倍だったのが 1. 一倍っていうふうな形で安全性を向上したっていうような
1:21:12	ところをお示しさせていただいてますのでその内容を計上な形で対応したいと思います。また象徴的直流電源 3 系統目オダの規定がどれだけ安全性を向上したというようなところにつきましては、
1:21:27	こちらはもう
1:21:29	実際現地伝え先ほど私のほうから御説明させていただいた中でも少し組まれてたんですが上がっていくかということについて、現状はもう
1:21:38	できてないところもありまして今後のPRAのアプリあの範囲を行ってその効果っていうものについて確認していく計画としております。こちらについても系統がどういうふうに
1:21:49	このようなイメージを後ろにつけるような形で対応させていただければというふうに考えております。
1:21:55	1 件目運営のデイスait 16 に関するところにしては以上です。
1:22:02	はい、お願いします。
1:22:23	はい。
1:22:33	すいません九州電力の患者数すいません。2 点目右肩 18 ページの所電力各社の密度継承できるところについてはその結果についても記載していたところでご提案いただいたものっていうふうにしております。
1:22:47	そこで見ますと、ちょっとこの電力各社による統計処理日っていうのが等級継承トラック反対のものをですね、電力がこちらに記載しております電力の中でいただいてたとコメントっていうのを反映して記載の充実に充てているものです。
1:23:04	ちょっとこちらの内容につきましては電力ない限りという形でやったっていうところもこれまでありまして、なかなかちょっとというコメントが出てどういう反映をし

	たっというのがちょっと示しスライドしづらいところなのかというふうに思っております。実際提出しているわけにも、
1:23:20	こちら性 18 にあるけれども内容しか今現在は記載していないところです。
1:23:27	あとすみません 3 点目のところが、
1:23:30	スライド 30 円右肩 33 ページの安全裕度評価のところ、今後今回評価が格納容器に対する評価で混合炉心に対しても実施しているかというところ、こちらにつきましては、すみません別名漏れてたかもしれない言い方 38 ページのところ、
1:23:48	少し期待パッていただいでまして、本番評価基準として、第 6 回届け出次回になります、こちらで神鋼商事防止対策も含めて実施していくような計画を立てております。
1:24:02	御質問いただいた内容は以上でよろしかったら、
1:24:11	はい。
1:24:13	すみません九州電力のシノザキです。
1:24:16	質問いただいたこの項目でもスライド 2 週 6 頁 27 ページ目のところ、
1:24:24	機能喪失ものの中で増えた項目評価手法文句があるというところで、こちらについてちょっと口頭で御説明させていただいたんですけど、スクラップし説明させていただきたいという内容をお聞きしたいと思ってきた内容で記載しているような形で、
1:24:42	文化シャッターについても説明を記載を追加することで対応したいと思いますので、よろしく願いいたします。
1:24:51	これもですね、今全部パッケージあるわけですね。
1:24:58	なるほど。
1:25:00	じゃあ、お願いします。
1:25:06	すみません。
1:25:08	減れば、
1:25:20	委員長。
1:25:22	じゃあ、今は、
1:25:27	はい。
1:25:29	はい。
1:25:34	では、拡散防止、
1:25:37	の要求額に関してなんですけども、それを伝えて欲しいなということも考えていくということでよろしいでしょうか。
1:25:54	はい、九州電力のシノザキでございます。
1:25:57	もう
1:25:58	炉心アーク 10 施設でも本来応答ですとCCbを守るという説明になってございますけれども、そもそも成立性と踏まえまして保身
1:26:09	損傷防止対策というところも考えて今後行っていきたいというふうに考えてございます。
1:26:18	はい。
1:26:19	社員

1:26:22	ちょっとわかりにくいと思うんですけど。
1:26:31	今回、
1:26:33	活動してるってということなのですね。
1:26:37	これどう考えでしょうか。
1:27:00	九州電力のシノザキですかいたしましたイトウ資料のほうにANAわかるように記載をしたいと思います。
1:27:11	じゃあ、
1:27:12	60 の施設。
1:27:17	一番大事だと。
1:27:19	はい。
1:27:21	あとちょっと関連しないところになりますけど。
1:27:37	こちらのほうが、
1:27:39	17 ページ。
1:27:46	としては三つのモニター、
1:27:52	これ
1:27:54	何を対象にするのは、ミヤジマとか、
1:28:01	これモニターするのは何かと思います。
1:28:08	九州電力シュトウです。
1:28:10	運転時リスクモニターの対象
1:28:13	としましては、内的の出力時を対象としてリスクモニターを整備しております。以上です。
1:28:23	わかりました。摺動履歴とかPRAとかについての見られたんで。
1:28:29	だけれども、安全、
1:28:33	そのほかに。
1:28:37	ほかにいただければと思います。私は、
1:28:44	発表会いたしました内部事象ということがわかるように追記すればよろしいということでもよろしいでしょうか。はい、それで結構です。
1:28:53	はい、わかりました。
1:28:56	やはり、
1:29:02	規制庁の三角です。すいません、立法にちょっと
1:29:07	うーん。
1:29:11	大庄の話から、
1:29:14	資料 1、
1:29:22	いわゆる案提出図書という対象が立ち上がったのかなという
1:29:27	将来のですけれども、
1:29:37	平成 10 年のシモシライシ以前
1:29:40	仙台玄海映像ですか。
1:29:43	客観的では現在取り組んでおります。
1:29:47	今回の届け出書でもアズイズ化したものを記載しております。
1:29:54	規制庁の西村です。

1:29:56	玄海のほうはまだ
1:30:00	ということです。
1:30:05	前回の資料、資料 2-3 ページの左下に金属がイトウの研修を検討して発生しないと思いますし、資料 1-3 街のほうは、そういった記載がされたので、ここ。
1:30:23	職員としては、形の部分について、
1:30:26	もちろん今後多少見せませうけれども、
1:30:31	仕上がっているということなのかなというふうに思ったんです。
1:30:36	九州電力のシモシライシ先生、本会前回川内 1 号第 3 回届け出において命令等の検討として残した 150 項目のうち 1 項目を残して記載をしているんですけれども、玄海においても、
1:30:53	今回の大会届け出において同様に 1 項目を残して、残りは続けて記載しておりません。
1:30:59	この 1 項目っていったところがですね、球場の整備及び条件といったところでの LCO の設定根拠になるんですけれども、現在建家参加回答整備しているところですので、その整備が完了した特定した意味で、
1:31:17	当発電所ごとに記載をしてくるものなのかなと思っております。そこに関しましてはすべて記載は完了しております。
1:31:26	規制庁にします。
1:31:30	46 ページ。
1:31:34	簡単に
1:31:39	地域。
1:31:43	確認してませんので、
1:31:46	イトウ
1:31:50	実施計画オオコウチとした PRA モデル、
1:31:53	等に与える影響がない。
1:31:56	確認したとか、
1:31:58	現場と図面のほうもなかったということによろしいですか。
1:32:05	九州電力の川瀬節夫と現場確認しまして、
1:32:11	そういう意味で確認しております。以上です。
1:32:14	すみません。
1:32:16	19 ページ。
1:32:18	面白い
1:32:23	表の右側になりますけれども、
1:32:26	あれへんプロジェクト評価をしており、ということなんですけれども、これの結果というのは、まだ崩壊されるところまでは正社員とか、そういったことを予定されているのでしょうか。
1:32:49	九州電力の患者数と RIDM プロセスというふうにならうにちょっと私たちが 45° 大学から説明させていただければというふうな思っております。RIDM というところで私たちは 40 ものとしては大きく基本プロセスと二つ個別にですっていうふうな二つのプロセスを

1:33:07	構築しております、基本プロセスが不要では今回記載しているところに近いところになるんですが、例えばの設備を改造したほうがいいんじゃないのかっていうふうなところであったり、こういう設備を新たに向けてはというふうなところでお給料活動をしていく中でですね課題が発生した場合ですね。
1:33:27	課題が初めから解決できない場合に移植学会さんのほうで構築されてますIRIDフジワラ
1:33:35	この中で長続きエレメントっていうものが定義されておまして、例えば一つ、
1:33:40	あと
1:33:41	及び情報
1:33:44	運転経験、
1:33:46	解決する要素、7時エレメント
1:33:49	それを用いて統合的にどういふふうな対応をしたらよいかっていうのを検討する、そのようなプロセスをRIDMプロセスという形で
1:34:00	MSシュトゥの中に構築を行っております。今は確認した結果がアウトプットとして示されるのかというふうな御質問に対しましては、日々の活動であろう。
1:34:12	例えば改造工事、次に二つの案があって、よかったBのほうは採用としましたっていうかそのような会については、おそらく安全性向上評価の中では、ほぼお示していくことではないのかなというふうに考えているんです。さっき火災予算でどの程度安全性が向上したというと、
1:34:28	要は、別途記載していただく形になるのかなと思うんですが、もうちょっとプロセスの判定結果みたいなのところについては、おそらく載せる。
1:34:37	ような内容ではないのかなというふうに考えているところです。以上です。
1:34:42	委員長にします。とりあえず、現状ではプロセスについては公開する予定ではないというところで承知しました。
1:34:53	あって、
1:34:55	2番。
1:34:56	もし、
1:34:58	ほかにございます。
1:35:05	はい。
1:35:10	規制庁ツカベですけど、資料の39ページ目で、
1:35:14	中長期的な評価PS
1:35:18	あるの。
1:35:19	言葉が書かれていると思うんですけど、低設定25年を用いたPSRというのは今回、本邦初になると思うので幾つかをお伺いしたいんですが、今回のやり方というのは、9電サをオリジナルで考えられた。
1:35:35	ものですかというのが一つです。はい、いかがでしょうか。
1:35:43	はい、九州電力のカンですねと、Ss25億の読込とあと現職あったり、作成されてません誠実で25位今般PPSアップ+当時と。
1:35:56	ミヤモトがありますがそれをよくまして当社売上を作っていく施設になっております。

1:36:02	はい、瀬戸ツカベですよ。わかります住み分けPSRプラスも見ながらということだと思んですけど、このレビュー項目について、そのSFP25とか項目と比べると／されてる部分もしくは省略されてる部分とかもあるかと思うんですけど。
1:36:21	これは事業者さんが自主的にこういう項目がレビューされるべきだということ
1:36:27	で、 計算が選ばれたということによろしいですか。
1:36:34	はい、九州電力の患者数、こちらのほうの設定に当たりましては、25 の中でいきますと5 章の中に安全因子の説明がありましてその中で適用範囲を作っ
1:36:48	て、 示されているものがありましてその内容とESRプラスのほうでも同様な設定されているところがありますので、それを横並びにして選定したというふうなものになっております。
1:37:01	廃棄設備ツカベけどそれはその数が違ったりとか、そののところに追加されていたリスタート思ったので、そこは事業者さん独自の判断も入ってるということ
1:37:16	によろしいですかという確認でした。
1:37:31	次に、その実際PSRアゼツ 25 とかは回外そこに欧州で使われてるかと思う
1:37:40	んですが、今回これをするにあたって、その実際の事業者がどういう形で、
1:37:42	海外の事業者がそのPSRを実施しているか、この評価書をまとめられている
1:37:50	かというのは、追加情報を
1:37:57	こととして、
1:38:08	決められて作られているんでしょうか。
1:38:19	はい、九州に行くの管理数増海外調査につきましては実際に月に
1:38:35	いった溢水マニュアル現地に確認したのと、あと誤差の要請といいますか、お
1:38:39	願いして調べてもらったりというような形で
1:38:47	取り入れてるとりあえずなのは取り入れているような形にしています。ただ基本的
1:38:59	的に施行外国の方で言われてPSR報告書であったり、
1:39:01	ユーザープロジェクト基本文書という形で実施計画を定めなさいというようなもの
1:39:04	がありまして、そういったものをちょっと見せてくれないかというところをお願い
1:39:06	したところ、浜松商工課独自の実績性のある意味、見てませんっていう形で、
1:39:08	ちょっと見えなかったという実態はありますが、
	例えばいきますと、今回判定基準はいえるかの委託でしますというところにつ
	きましては、こちらの
	施工だったと思うんですがその電力さんに質問させていただいたときに対サ
	カイ倒産にこのようなステータスで示していくというようなの方は設定したような
	経緯はあります。
	以上です。
	はい、瀬下ツカベですか。わかりました。
	あと今回
	去るといって、
	良好事例とネガティブな

1:39:12	試験と両方あると思うんですけど今回は良好事例はなかったということだったんですけど。
1:39:19	何となくその、比較的控え目な消火をみずから自己評価をされたのかなと思ったんですが、
1:39:25	そのなぜ良好事例が
1:39:29	出世されなかったというか、
1:39:33	理由といたしますか。
1:39:35	原因は、
1:39:38	あるのでしょうか。
1:39:47	はい。当求心力を管理すると原因というところまで行けるのかわからないところあるんですが、今回好ましい小計の長所と言っているものを提供としましては、一過性 41 ページのところに記載している。
1:40:02	このまして、基本的に最新の規格基準において確認されてる評価の時に、
1:40:09	よりも高いパフォーマンスレベルの場合はなしで来ております。凝灰強化事業工事で言われてるものよりも上を目指すというところで、このような形で記載をさせていただいてまして、ちょっとこの定義がどの程度が高いコマツできるかっていうのがちょっと難しいというようなところも、
1:40:26	出産なかったっていう意味はあるのかもしれないですが、基本的にあるよう良好事例よりも上のレベルっていうところで 1000 を引いた結果としてこれは絶対にはなっているようなところなんです。
1:40:38	以上です。
1:40:41	はい、設計を使うんです。私からいただきありがとうございます。
1:40:49	いや、
1:40:55	話がありましたけど、
1:40:57	ページ目です。
1:41:03	ページ。
1:41:13	そしてする予定があった。
1:41:16	はい。
1:41:17	その後ろについたらいいんじゃない。
1:41:58	すみません、九州電力のテラサキと申します。RIDMIにつきましてはできるんじゃないで、アクションプランとかへとかこういうことやっていきますとかそういったところは公表してございまして、本社で具体的な対応とかこれまで説明しているところはないんですけども、
1:42:17	先ほど申しました事業者として、
1:42:21	〇ビームを進めていきますということは、
1:42:26	公表している状況でございます。以上です。
1:42:30	規制庁件数
1:42:33	というのは電事連大で
1:42:36	統一してそれを実際に
1:42:40	うん。
1:42:40	続いて、ベースの情報を、そういうようなそういう意味で、

1:42:46	さっきの具体的には、これで見直したものは、
1:42:51	要するに関係ないって、ちょっと我々わかんなかったんですね。
1:42:55	社内決定を
1:42:58	大差ないものについては取り込むのでそのFSARでなきゃいけないというお話だったんじゃないかと理解しております。
1:43:06	九州電力のテラサキです。
1:43:10	電力代でアクションプランは示してるんですけども各社の取り組み自体はそれぞれ
1:43:18	各社それぞれバランスといいますか。
1:43:21	やってるところは細かいところでは違うのが出てくると思いますけれども、
1:43:26	あと
1:43:28	先ほどまで進んでるとか、まだ
1:43:32	先ほどの審査が普通のところとかもございますので、おそらくばらつきがあると思います根本的の基本的な価格がアクションプランで示しているところです。
1:43:44	着席のミキヤですね、今後、今の段階ではフレーズアップが基本的なものを構築して、
1:43:52	今の段階でどこまでできていることになってきたっていうのも参考資料でもし続けられるかって聞いていただければありがたいなと思います。
1:44:02	2点目なんですけれども、18ページ目なんですけれども、安全性信頼性向上会の委員の先生二名追加があつてるとか。
1:44:12	3点。
1:44:23	はい、九州電力の患者数へ等安全性信頼性向上委員会を採用18ページでいきますと、全身の安全性向上分科会から参加いただいている先生としては、
1:44:38	いいえ、すみません、それから、四つ目の点に先生と、それから、項目で時の先生が世界参加いただいています。データの追加いただいた背景としましては、
1:44:51	ご議論がなかなかお知らせですか女性の視点での意見をいただきたいというふうな観点で典に先生方、
1:44:58	またお若い方の意見をいただきたいというところで藤野先生を追加いただいているかといいますか御参加いただいて引き続き姉向上評価の内容について見ていくべきいただいているような状況でございます。以上です。
1:45:15	20ページ目なんですけれども、全体の話は震源施設の設置許可で話し合ったんですが、前回行けなかったように思うんですけれども、委員会の方いかがでしょうか。
1:45:48	九州電力の萩田です。
1:45:51	原管についての震源を特定せずについては、今回評価地点が12月14日時点ということでございまして、こちらの届け出には採用していないという状況になります。
1:46:09	線源わかりますのですね、
1:46:20	はい、すみません、補足には
1:46:23	というのははっきりしていたけれども、実際にはまだ
1:46:29	ヘッド差になって、

1:46:33	はい、そうです。
1:46:34	すみません。
1:46:43	はい。
1:46:55	以上
1:47:07	うん。
1:47:09	はい。
1:47:10	①の
1:47:11	うん。
1:47:18	10月。
1:47:22	④屋外
1:47:29	はい。
1:48:06	さっき九州電力のオオコウチです。隻いただいたファイル及びその検討中 38 件これ以上対象者についてですけれども、資料 15 ページのほうの※に記載しているんですけれども、こちらはまだ反映して検討している項目につきましては、
1:48:25	まだこちらの新知見については、内容がまだ非常に研究の途中の段階のものでして、その研究の成果が提供はつきり出た場合には、例えばタッチエスにこれらの知見については反映が必要か否かというところを検討していくというところで研究状況について、まだ
1:48:43	ぜひ監視を行っているっていうのは状態になっております。
1:48:52	はい。
1:48:54	そうするとママダその 58 件っていうのがその次回。
1:49:00	これは、
1:49:05	九州電力のオオコウチです。ご認識いただいているということです。
1:49:10	いずれ層に、その第 2 回とかそういう問題がこういうふうに
1:49:17	今日はですね、幼稚園教員でまだそのてるものっていうのはないと考えてよろしいですか。
1:49:28	九州電力のオオコウチです。今回これをこちらに記載さ 18km30 件の反映要否検討中の項目ですけれども、こちらの中は当第 1 回第 2 回でとい汎用品検討中でしたので、また
1:49:45	研究成果を監視してるものとかっていうのは、随時今後残っていくような状態です。この 18. 30 件っていうのは世代の遺体ご依頼解体サカイで営業日検討中というふうに人が残ってるものがすべてこちらにカウントされてるような状態となっております。
1:50:05	わかりました。
1:50:07	等あります。毎年、新しいさせていただきたいと思うんですけど、ベースの検討中のものがそこに 1 回のときのところでPdと、
1:50:22	それからカウントされされるっていうそういうふうに関閉する。
1:50:38	中部電力のオオコウチです。ご認識の通りです。補足としましては、今回の資料の 13 から 15 ページで新知見について調査結果を取りまとめているんですけども、13、13 ページについては今回の評価期間において、

1:50:54	抽出し、収集しました新知見の状態に対しまして 1045 ページで過去のことで抽出した新知見の対応状況について規制しておりますので、
1:51:06	さっき検討要否反映検討中のものっていうのは大分、フェーズ 4 ページもページのところに項目として今後上がってくるような内容となっております。
1:51:18	ありがとうございますと 13 ページの見方を御説明けど。
1:51:24	例えば先ほどの①の周辺状況 94 ページ。
1:51:33	その内範囲って先ほどの 19 件。
1:51:42	いろいろ
1:51:43	この 40 件の
1:51:47	1 件が 39 ページ、これはもう全然
1:51:50	カンてないものというふうに判断がされたっていうことでよろしい。
1:52:00	要するに電力のスナダです。はい、おっしゃる通り、1 月のところの 39 件についてはスクリーニングアウトされたものとなっております。
1:52:13	了解しました。
1:52:15	はい。
1:52:17	はい、どうぞ。
1:52:22	43 ページ。
1:52:25	うん。
1:52:30	他方、
1:52:31	でも、
1:52:32	改善の余地、
1:52:34	特重施設の
1:52:46	この改善されるっていうふうに考えます。
1:52:51	はい。
1:52:52	17 ページ。
1:52:55	うん。
1:52:59	黒い
1:53:03	ここに
1:53:08	委員。
1:53:09	いや、いや、
1:53:27	でも、改良っていう
1:53:30	考えられる。
1:53:33	この対応をどう考えるか。
1:53:41	はい、九州に行くの患者数、先ほどの言い方 43 ページの所見で改善余地が見込まれる所見というものを受けて今後の計画としては 46 に立てておまして、調整御説明気体抱えて
1:53:57	やってしまったところはあるんですが、先ほどの件名は、右上のほうの最新図面予定最新図面手順のPRAモデルの反映というところで、特に今回の評価時点の説明図面であったり手順というのを嫌でもで反映していくっていうふうな形で考えております。

1:54:15	駄目だろうと思ってそのままにするかっていうときちっと対応を行っていきま すというふうな整理としております。
1:54:22	以上です。
1:54:24	委員長。
1:54:26	そうすると、この方を
1:54:30	はい。
1:54:37	いつもの届け出は反映されます。
1:54:45	九州電力の管理するこちらの届け出計画につきましては、IP型 50 ページも しくは 51 ページを見ていただきたいと思ひまして、やはり 50 ページ以降が、
1:54:58	鉛直といいますか線が引いて上ちょっと見やすいかと思ひますので 50 ペ ージをお願いします。
1:55:04	こちらの今後の計画としては誤解ロッカーに分けて対応していくことを計画し ておひまして、ほかの方では内部事象出力一定のPRAのほうに反映を行う。第 6 回のほうでは内部事象停止時PRAと外部微小PRAのほうに反映を行っ ていく。
1:55:22	いう形で段階的に誤開ロッカーに分けて反映を行っていくような企画を立て ております。以上です。
1:55:30	はい、了解しました。
1:55:50	再度、資料ちゃんもいいですかね。
1:55:53	収益改善は何かあれば質問。
1:55:59	規制庁のミキヤです。すいませんちょっと今後の進め方なんですけれども、資 料 1 取手要するに置換のうれしかったため、結構改善事項の資料 3 につい ては、ちょっと今後ないしは質問があれば、
1:56:16	別途御連絡させていただくという形にさせていただいて、今日は残りの資料番 号を振ってない人への説明、
1:56:26	いただければなと思うんですけれども、よろしいですか。
1:56:35	はい、承知いたしました。その辺はよくわかりますしたら降灰後は一旦ここで終 わりたいと思ひますので、
1:56:44	はい。
1:56:45	事務局からよろしいですね、評価のところ追加の物質、
1:56:50	九州電力さんから何かあります。
1:56:53	会議としては、ちょっと 1 回公開はしないと。
1:56:59	はい、承知いたしました。それをお願いいたしますといったことで終了しま す。ありがとうございます。
1:57:06	得ました。